

令和3年度定時総会開催される

令和3年6月26日(土)よりKKRホテル熊本にて、一般社団法人熊本県介護福祉士会令和3年度定時総会が行われました。コロナ禍における総会として、役職員のみが会場に参加し、オンラインによる参加、もしくは委任状・書面評決の事前提出による縮小開催となりました。開会にあたって、石本会長より挨拶を行い、日頃の会員の皆様への感謝、並びに昨年の豪雨災害の被災地へのお見舞いと、災害支援に協力いただいた皆様への感謝の言葉が述べられました。また、本来ならば来賓としてお招きするところではありましたが、書面にて、**熊本県健康福祉部長寿社会局高齢者支援課課長の篠田誠様**からのご挨拶のメッセージが代読されました。引き続き、県央支部から豊増正会員が議長に選任され、議事の進行が行われました。本総会は第1号議案から第5号議案まで諮られ、いずれの議案も定款にもとづき賛成多数で承認可決されました。

出席者から、「介護福祉士会で介護支援専門員の試験対策勉強会などを行ってらっしゃるが、せっかく合格した人が介護福祉士会を退会して、介護支援専門員協会に移った例がある。このよう事象に対する対応について考えがあれば聞かせて欲しい」という旨の発言があり、「今後も会として学ぶ機会の提供は行うが、介護福祉士として介護支援専門員の資格を保有する者のフォローアップ研修などは行っていなかったため、介護福祉専

門職を基礎資格としてケアマネジメント業務に従事する者を対象とした研修を企画する等検討したい。また、その際は介護支援専門員協会に協力を依頼するなど、団体間の連携の下開催できればと考える」と執行部より回答がありました。また、事業計画の説明と併せて、日本介護福祉士会の全国大会について今村副会長より説明があり、オンライン開催への参加登録について呼びかけが行われました。

第5号議案の役員改選においては、前期で退任する役員と、今期から新役員となる皆様の紹介が行われました。また、退任される方々には、永年にわたり会の発展のために尽力いただいた感謝の意として、花束が贈呈されました。閉会に際して石本会長より、「コロナ禍における厳しい状況が、必ずや落ち着くことを願うとともに、落ち着いた暁には、以前のように会員の皆さんと一堂に会して語り合える日が来ることを期待して、明日からも頑張りましょう」と締めくくられました。

令和3年度一般社団法人熊本県介護福祉士会定時総会が開催されますことをお慶び申し上げます。

皆様方、お一人お一人の日々の働きが、介護の現場を力強く支えていただいております。まずは、このことについて、深く感謝を申し上げます。

また、現在も1年以上にわたり新型コロナウイルス感染症対策に緊張感を持って粘り強く取り組んでおられ、非常に頭の下がる思いであります。本当にありがとうございます。

さらに、令和2年7月豪雨の際には、コロナ禍という難しい状況下にも関わらず、発災直後から避難所の応援に会員の方々を派遣いただくなど、多大なる御支援をいただきましたことに、重ねて感謝申し上げます。

さて、県では、今年3月に策定した第8期「長寿・安心・くまもとプラン」において、「介護人材の確保と介護サービスの質の向上」に重点的に取り組むこととしています。特に、介護ロボットやICTの導入による介護現場の負担軽減や、介護職員自らが誇りを持って介護の魅力を伝える「KAIGO PRIDE」プロジェクトなどの取組みを進めて参ります。

この厳しい状況下で、社会に必要不可欠な介護職の重要性が改めてクローズアップされています。県としても、コロナ禍にあっては歩みを止めることなく、あらゆる機会を捉えて、介護現場や介護職に対する一層の理解促進に努めて参ります。

また、県としてもは、感染症対策や災害対策につきましても、引き続き力を入れて参りますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

最後に、貴会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝を祈念しまして、挨拶とさせていただきます。

熊本県健康福祉部長寿社会局
高齢者支援課長 篠田 誠

熊本県健康福祉部長寿社会局高齢者支援課長 篠田様より



開会のあいさつ



退任される福嶋副会長光多監事西村理事へ花束の贈呈

